テーマは「まえばしの食」
30秒の映像作品を募集します

前橋の食の魅力を30秒で伝える映像を募集。実写やアニメーションなど表現方法は自由です。

問 政策推進課 ☎ 027-898-6513

HP 公式ホームページ

映像作品コンテスト「まえばしCMフェス」を開催します。実写やCG、アニメーションなど表現方法は自由でどなたでも応募可能。ただし、応募作品数の上限は3点までです。応募方法や作品の規格など、詳しくは問い合わせるか、公式ホームページ(http://maebashifilms.com/cmfes/#cmfes)をご覧ください。

各賞・賞金＝〈最優秀賞・1人〉10万〈優秀賞・1人〉5万円〈入賞・2人〉2万円

応募期間＝来年1月31日㈫まで

前橋の食の魅力伝えて

豊かな食の産地である前橋。食を育む自然や育てる人、料理する人や祭りなど、さまざまな視点で食の魅力を伝えてください。応募作品は来年2月に一次審査を行い、3月にその合格者を対象に公開コンテストを開催。みなさんの応募をお待ちしています。

政策推進課
荻原 道元

サポーターと一緒に
介護予防を楽しく学ぶ祭典

各地区の介護予防サポーターが中心となって楽しく介護予防を学ぶ、介護予防まつりを開催します。

問 介護高齢課 ☎027―898―6133

「介護予防まつりinまえばし～ピンシャン！元気で明るいまちづくり」を開催します。講演会やまえばしシニア元気！川柳コンテスト、健康チェックなどを実施。介護予防サポーターと一緒に楽しく介護予防を学べます。

日時＝11月27日㈰午前10時～午後3時

会場＝総合福祉会館

■介護予防サポーターとは

平成17年度から市が養成している、地域で介護予防の取り組みを実践するボランティア。研修を受講・修了した後に登録し、介護予防事業の運営補助や地域でのサロン運営などを行っています。介護予防まつりも介護予防サポーターの普及啓発活動の一環として、普段の活動の発表の場として始まったもの。サポーターが全面的に企画・運営に携わっています。

いつまでも元気でいるために

介護予防まつりは、幅広い世代に理解を深めてもらえるよう工夫をしています。日頃の生活を振り返り、元気で過ごすためのヒントがきっと見つかると思います。

介護高齢課
理学療法士 北原 絹代

自慢の作品を応募して
力作を市民展で披露

書道・美術・写真の3部門で、前橋市民展覧会の作品を募集します。

問 生涯学習課 ☎027―210―2198

来年2月に行う前橋市民展覧会の作品を募集します。対象は市内在住か在勤、在学の16歳以上の人。出品する人は、書道は来年2月2日㈭午前9時30分から午後3時まで、美術と写真は来年2月5日㈰午前9時30分から午後3時30分までに前橋プラザ元気21内中央公民館へ直接作品と出品展を持参してください。詳しくは各公民館・市民サービスセンター・コミュニティセンターで配布する、開催要項をご覧ください。

入選・入賞者の発表は来年2月21日㈫午前10時に中央公民館で（電話での問い合わせは不可）、入選・入賞作品の展示は市民文化会館で行います。

募集作品＝〈書道〉漢字、かな、新傾向（墨象・近代詩文・大字書）〈美術〉日本画（極彩・水墨）、洋画（油彩・水彩・アクリル・版画・パステル・きり絵・はり絵など）、彫刻・工芸〈写真〉風景・ネイチャー、花・動植物、スナップ・人物

費用＝2，000円（18歳以下は無料。同一部内に2点以上出品の場合は、2点目から1，000円。写真は部門内の他の部に出品する場合、2点目から1点1，000円）

他人事ではないエイズ
心配事があったら検査を

HIV検査は無料で行えます。早期に発見すれば普段と変わらない生活が送れます。

問 保健予防課 ☎ 027-220-5779

市保健所で無料のHIV検査を実施しています。エイズはHIVに感染して起こる病気。免疫が壊され、健康なときにはかからない感染症や悪性腫瘍などの病気にかかります。HIVに感染しているかは血液検査でしか分かりません。心配事のある人は、事前に予約して検査を受けましょう。感染後、エイズ発症までは、数年かかります。潜伏期間は無症状ですが、ウイルスを人に感染させる力があり、本人が気付かないうちに人にうつしてしまうことも。早期に治療すれば、今までと変わらない生活を続けられます。

日時＝毎週水曜（祝日を除く）、午前9時～10時30分（11月30日㈬は午後5時～6時30分も実施）

エイズを知るイベント開催

「知っていても、分かっていても AIDS IS NOT OVER」をテーマに、世界エイズデー啓発イベントを開催します。

日時＝11月24日㈭午後1時～4時、25日㈮午前9時30分～午後3時

会場＝前橋プラザ元気21内1階にぎわいホール